

A型肝炎に注意。手洗い、加熱調理で感染予防を！

令和2年3月18日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和2年第11週分・3月9日～3月15日)

《インフォメーション》

●A型肝炎

A型肝炎は、A型肝炎ウイルスを原因とする急性感染症です。感染経路は、汚染された食物（水、氷、野菜、果物、魚介類など）を摂取することでおこる経口感染です。過去には、貝類による集団感染も発生しています。また、性的接触による感染（糞口感染）もあります。

A型肝炎患者報告数

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年*
全国	男性	144	176	165	833	332	27
	女性	99	96	120	93	93	11
富山県	男性	0	3	1	4	3	2
	女性	0	2	2	0	0	5

*第10週まで

A型肝炎の患者報告数は、毎年約100～300例で推移しており、感染経路の約7割が経口感染となっています（表）。2018年は全国で患者数が増加しましたが、男性間での性的接触による感染が例年より多く確認されました。県内では過去5年間は年間5例以下の報告数でしたが、今年には既に7例の報告があります。

A型肝炎の潜伏期間は2～6週間程度（平均4週間）で、発熱、全身倦怠感、食欲不振・嘔吐などの消化器症状、黄疸などの症状を呈します。乳幼児の感染では症状が軽いことが多く、年齢が上がると症状が重くなる傾向があります。一般的に予後は良好ですが、まれに劇症化し、死亡することがあります。特別な治療方法はなく、対症療法のみです。

感染した場合は、発症前約2週間～発症後数か月と長期にわたり、便中にウイルスが排出されることがあります。そのため、症状が消失した後も手洗いなどを心がけて、他人に感染させないように注意しましょう。食材の十分な加熱調理（85℃、1分以上）などにより、感染しないように対策を行うことも重要です。A型肝炎はワクチン（任意接種）で予防できる疾患ですが、わが国の50歳以下の成人の抗体保有率はほぼ0%と推定されています。流行地（アジア、アフリカ、中南米など）への旅行者、医療従事者、慢性肝疾患などの基礎疾患を有し抗体を持たない者などのA型肝炎の高リスク者ではワクチンの接種が望まれます。接種する際は、医療機関にご相談下さい。

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 2件（①40歳代、男性 ②80歳代、男性）

四類感染症 レジオネラ症 2件（①60歳代、男性、肺炎型 ②60歳代、女性、肺炎型）

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件（第10週診断分：80歳代、女性、A群）
侵襲性肺炎球菌感染症 1件（60歳代、男性）

梅毒 1件（第7週診断分：40歳代、男性、早期顕症梅毒I期）

百日咳 6件（①10歳未満、男性 ②～⑥すべて10歳代、男性）

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週（増減）	先週
1位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6.86（↓）	7.90
2位	感染性胃腸炎	4.17（↓）	5.76
3位	インフルエンザ	1.50（↓）	2.65
4位	マイコプラズマ肺炎	1.20（↑）	0.60
5位	咽頭結膜熱	0.62（↓）	0.66
6位	伝染性紅斑	0.48（↑）	0.38

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第11週 令和2年3月9日～令和2年3月15日）

分類	疾患	今週報告分（第11週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核		1	1			2	2	2	8	2	13	27	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1		4	5	
四類感染症	E型肝炎							1					1	
	A型肝炎							6				1	7	
	デング熱											1	1	
	レジオネラ症			1		1	2	1		2		2	5	
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1		3	1	2	7	
	急性脳炎							2					2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									1		2	3	
	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1	1		1		2	4	
	水痘（入院例）							1	1	2		2	6	
	梅毒							1		2		1	4	
	百日咳					6	6				20	1	21	
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	1 0.14	10 2.00	14 1.08		47 2.94	72 1.50	625	289	852	567	1,064	3,397	
	RSウイルス感染症		1 0.33				1 0.03	1	5	17	1	32	56	
	咽頭結膜熱	2 0.50	2 0.67	7 0.88		7 0.70	18 0.62	20	42	40	5	61	168	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7 1.75	18 6.00	79 9.88	8 2.00	87 8.70	199 6.86	48	100	705	112	1,009	1,974	
	感染性胃腸炎	31 7.75	20 6.67	14 1.75	7 1.75	49 4.90	121 4.17	383	242	343	177	1,068	2,213	
	水痘			3 0.38	1 0.25	6 0.60	10 0.34	27	23	30	13	62	155	
	手足口病					3 0.30	3 0.10	18	1	13	4	39	75	
	伝染性紅斑		5 1.67	2 0.25		7 0.70	14 0.48	9	19	20		145	193	
	突発性発しん		1 0.33	4 0.50		4 0.40	9 0.31	5	7	40	16	25	93	
	ヘルパンギーナ	2 0.50					2 0.07	16		7	1		24	
	流行性耳下腺炎									2	4	2	8	
	流行性角結膜炎			1 0.50			1 0.14		4	7	2		13	
	無菌性髄膜炎					1 1.00	1 0.20				1	3	4	
	マイコプラズマ肺炎			3 3.00	1 1.00	2 2.00	6 1.20	1	3	6	8	5	23	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）										1		1	
	インフルエンザによる入院患者（*）					2	1	3	42	5	27	71	52	197

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

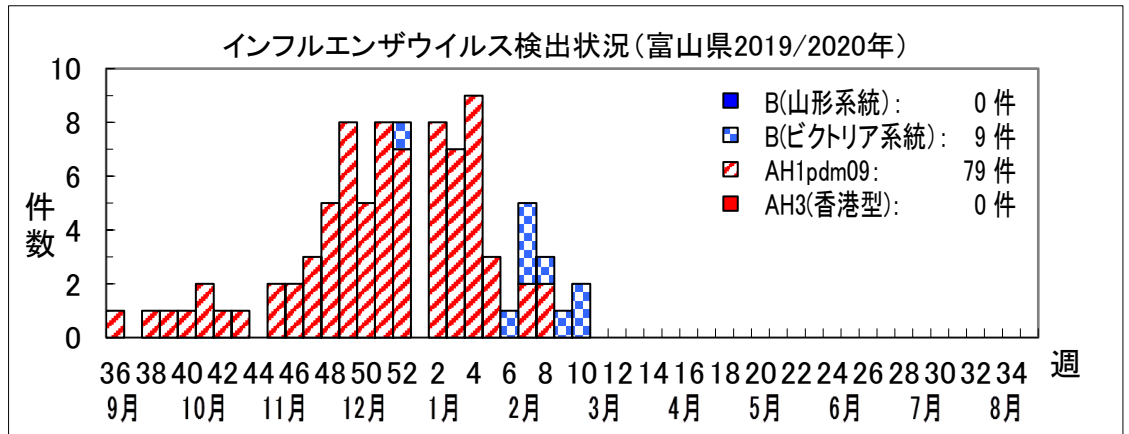
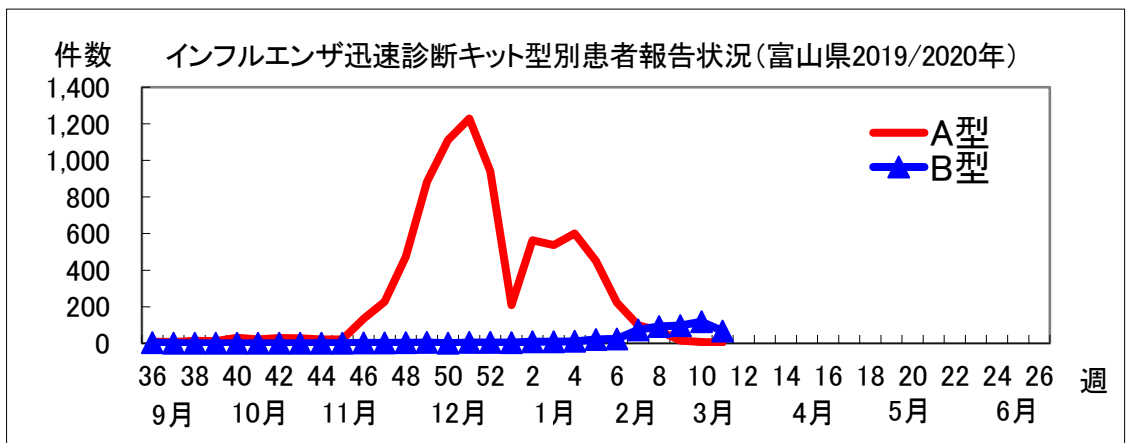
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、B型が93.1%となっています。

第11週(3/9~3/15)：富山県 1.50人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	1 / 7	0	1	0	1
中部	4 / 5	2	8	0	10
高岡	7 / 13	1	12	1	14
砺波	0 / 7	0	0	0	0
富山市	7 / 16	1	46	0	47
富山県	19 / 48 ^{※1}	4	67	1	72
富山県累計(2019年36週~)		7,973	556	320	8,849

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が19か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



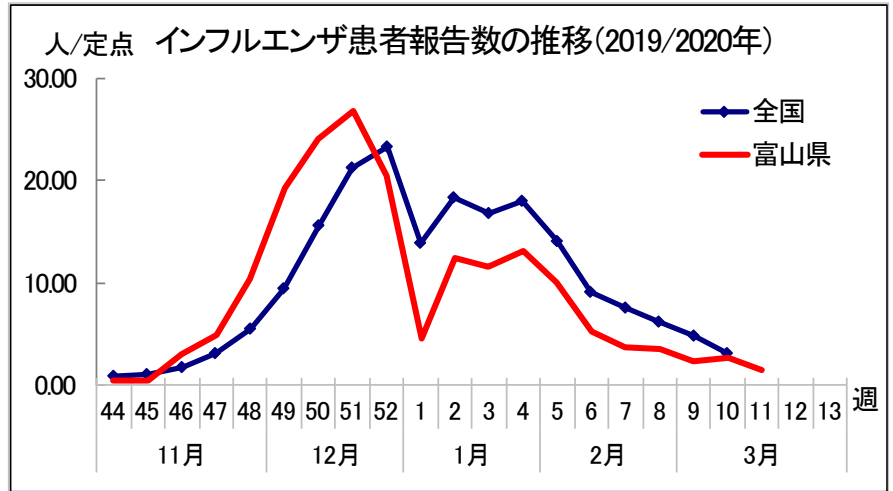


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第11週 (3/9~3/15) : 富山県 1.50 人/定点

新川 HC (0.14)、中部 HC (2.00)、高岡 HC (1.08)、砺波 HC (0.00)、富山市 HC (2.94)

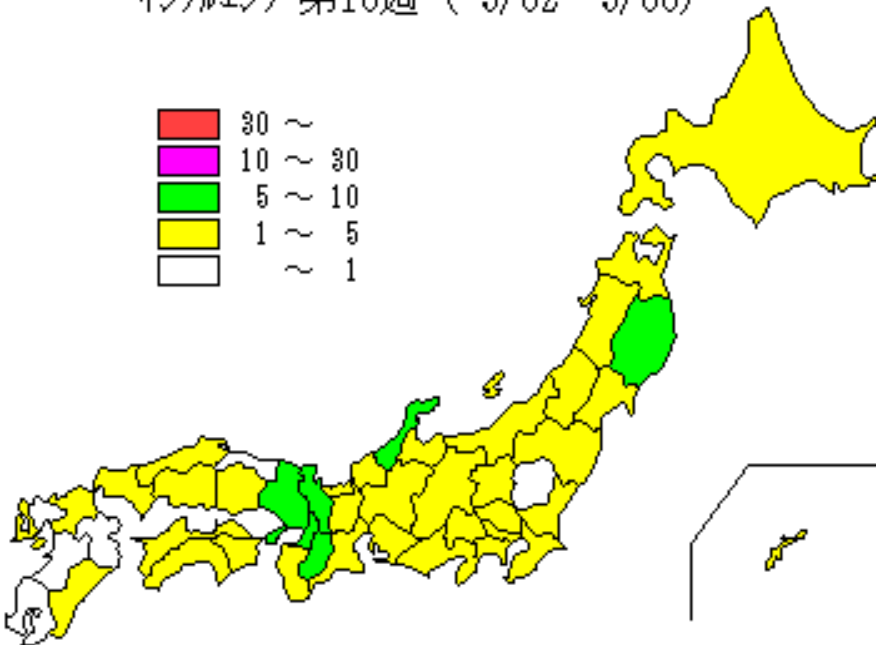
今週、県内のインフルエンザ報告数は、定点医療機関あたり 1.50 人となり、先週 (2.65) より減少しました。県内のインフルエンザの流行は縮小傾向にあります。B 型の報告数は増えており、引き続き注意が必要です。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第10週 (3/2~3/8)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 3.13 人となり、前週の 4.77 人より減少しました。5 県で前週より増加しています。42 都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第10週 (3/02- 3/08)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	3.85	滋賀県	3.85
青森県	3.17	京都府	5.87
岩手県	8.86	大阪府	7.32
宮城県	1.71	兵庫県	5.29
秋田県	3.17	奈良県	5.05
山形県	3.28	和歌山県	1.43
福島県	1.23	鳥取県	0.97
茨城県	1.19	島根県	1.63
栃木県	0.70	岡山県	4.51
群馬県	3.11	広島県	2.38
埼玉県	3.53	山口県	2.12
千葉県	2.41	徳島県	1.14
東京都	2.34	香川県	2.06
神奈川県	2.94	愛媛県	3.13
新潟県	1.52	高知県	1.17
富山県	2.65	福岡県	1.45
石川県	6.94	佐賀県	0.62
福井県	2.27	長崎県	2.44
山梨県	3.15	熊本県	0.54
長野県	3.76	大分県	0.47
岐阜県	2.54	宮崎県	1.00
静岡県	1.40	鹿児島県	0.88
愛知県	4.65	沖縄県	3.38
三重県	3.57	全国	3.13

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年2月分）

		2月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症	1		1		2	4	1	1	2		5	9
		1.00		0.33		0.50	0.40						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症		1			2	3		2		2	5	9
			1.00			0.50	0.30						
	尖圭コンジローマ											2	2
	淋菌感染症			1		2	3			1		5	6
				0.33		0.50	0.30						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2		3	1	6	12	4	1	4	3	8	20
		2.00		3.00	1.00	6.00	2.40						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1			1			3			3
				1.00			0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。